

感染症に気をつけよう!

2016年【4月号】

横浜市内の感染症 流行状況

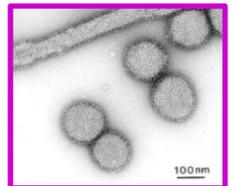


| 感染症 | 流行状況 | | 説明 【解説付き既刊号等】 ← クリック |
|---------------------|------|-----|---|
| | 流行 | 減少 | |
| インフルエンザ | 減少 | 増加 | 報告は減少傾向ですが、重症例もあります。まだ、しばらく流行が継続すると考えられるので、警戒が必要です。【'16.3号】 |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | やや流行 | 横ばい | 例年に比べ多い状況が続いています。予防には手洗いが大事です。1歳から予防接種が受けられます。【ワクチンちらし】 |

今、気をつけたい感染症 インフルエンザ



現在の流行の中心は、インフルエンザB型です。同じシーズン中にA型とB型の両方にかかる可能性もあります。子供と高齢者では、重症化に特に注意が必要です。



インフルエンザウイルスの電子顕微鏡像
国立感染症研究所ホームページより



予防の基本は正しい手洗いです。

もし症状が出てしまったら、周囲に感染を広げないように咳エチケットを守り、早目に受診してください。



抗インフルエンザ薬を使って熱が下がっても、他の人にうつす場合があります。

学校等は、「症状が出てから5日間が過ぎ、かつ、熱が下がった後2日間(幼児は3日間)は休むこと」とされています。かかりつけ医に相談しましょう。

